



志高く!

教育目標
 「志高く 遅しく 切り拓く」
 目指す生徒の姿
 「主体的に考え 判断し
 勇気をもって行動する！」

◆麻生中学校だより◆
 Tel 80-8070
 Fax 77-0840
<http://www.sopia.or.jp/n-asojh/>
 行方市南327の3
 令和4年3月17日発行
 令和3年度 第34号

◆令和3年度第10回卒業証書授与式◆

3月11日(金)、「麻生中学校第10回卒業証書授与式」を挙行了しました。今年度、巣立っていった96名の卒業生は、終始すばらしい態度で式に臨み、我々職員はもとより、オンラインにて教室で式の様子を視聴していた後輩達に、中学校生活最後となる輝かしいそして感動的な後ろ姿を見せてくれました。以下に卒業式式辞を掲載いたします。ご一読頂ければ幸甚です。

時折、吹き渡る暖かい風に誘われるかのように、桜の木の小さな芽が膨らみ始めました。

日に日にやわらかさを増す陽差しに、春の訪れを感じるこの佳き日、行方市教育委員会教育長 横田英一様をはじめご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、行方市立麻生中学校、第十回卒業証書授与式を挙行できますことを、心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

卒業証書を手にした九十六名の皆さん、卒業おめでとうございませう。卒業証書を受け取る皆さんの姿からは、本校でしっかりと学び成長したという自信と誇りが感じられました。

皆さんの学年は、「過去、最高の学年、最高の麻生中学校を創り上げる」という強い意志と意欲にあふれていました。授業中も休み時間も、行事の時も、そして部活動でも、いつも学校中に、明るく元気な皆さんの声が響いていました。特に体育祭や友輝祭においては、一人一人が熱い思いをもって、仲間とともに一生懸命取り組み、すばらしい成果を残してくれました。そして、その姿はいつも輝いていました。特にこの二年間は、「コロナ対策の中、やらない理由を探すのではなく、やる理由とそれを実現する方法を知恵を出し合って追究してきた」、この事の繰り返しであったと思っています。そして皆さんの何事にも前向きに挑戦する姿は、麻生中生としてのプライドを示すものであり、「志高く 遅しく 切り拓く」という本校の教育目標を後輩たちにしっかりとつなぐものでした。

特に今年度は、麻生中学校創立十周年という記念すべき年の最高学年として、学習面においても運動面においても、そして行事面においても、「文武両道」という言葉にふさわしいすばらしい活躍をしてくださいました。皆さんの頭上に掲げられている、創立十周年記念の横断幕は、現在の麻生中学校の勢いある姿を象徴する宝物だと思っています。

間もなく、母校である麻生中学校を巣立っていく瞬間が訪れます。これから先、順調な時でも油断せず、うまく行かないときでもあせらず、常に前を向き、一步一步着実に歩みを進めていくことを願っています。そして、これからも感謝の気持ちを忘れず、様々なことを真摯に受け止める「豊かな感性」と、冷静に考え判断し行動できる「本物の知性」を伸ばして行ってください。その力が、皆さんのこれからの人生を支えるうえで、大切なものとなるはずですよ。

ご来賓の皆様、本日は、ご多用の中、ご列席を賜りまして、誠にありがとうございます。こうして私たちと共に卒業を祝っていただけますことを、心より感謝申し上げます。今後とも、この卒業生を、そして、麻生中学校をあたたく見守っていただけますよう、お願い申し上げます。

保護者の皆様、三年前の入学の日を思い浮かべますと、心身ともに、たくましく成長した我が子の姿に喜びもひとしおかと存じます。お子様の成長に合わせて、まさに、一喜一憂した三年間だったのではないのでしょうか。今、確かなことは、子供たちが、自分が求める未来に向かって、自分の足で歩き出そうとしているということです。そして、どのような困難な時であっても、本校で学んだ事を基に、これからの人生を力強く切り拓いてくれるものと、信じております。この三年間、本校の教育にお寄せくださいましたご協力とご支援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆さん。今から三年前の入学式で皆さんに歓迎の言葉を述べ、そして、今、はなむけの言葉を伝えられることを何よりの喜びと感じています。この三年間、皆さんと共にすばらしい時間を共有できたことに、心から感謝しています。有り難うございました。本日の卒業式が、卒業生の皆さん一人一人にとっ

て、輝かしい人生の新たな第一歩となることを祈念し、式辞といたします。



本学校だよりは、学校のホームページ(www.sopia.or.jp/n-asojh/)にカラーで掲載していますのでご覧ください。